

オレンジフェリーの新旧フェリー乗船会 さよなら「おれんじ8」とこんにちは「おれんじえひめ」（その2）

事務局長 池田良穂

8月24日19時過ぎ。大阪南港のフェリーターミナルには、乗船会の参加者が続々と集まっていました。総勢25名。「おれんじ8」の出港は22時ですが、20時から乗船ができ、レストランで美味しい食事が楽しめます。

学会では、「おれんじ8」のお別れの航海なので、オレンジフェリーに頼んで、レストランの一画で「さよならパーティ」を開催させていただくことにしていました。これまで何度も利用した同船のワンナイトクルーズでは、豪華なパーティ料理もだしていただいたのですが、最終航海なので食材等も限られるところで、オードブルと同社自慢のカレーをだしてもらうことにしました。

一般乗客よりも一足先に乗船させていただき、さっそくパーティが始まりました。梅田会長の挨拶と、受付だけのために駆けつけてくれた事務局の中山さんの紹介(その後、下船して帰宅されました)、そして乾杯!! 約1時間半のパーティは和気あいあいと続きました。

その間、レストランは次々と乗船してくる乗客で満席状態が続き、相席を求めるアナウンスもありました。かつて日本のフェリーのレストランといえば、「まずくて高い」と言われたものですが、それをブレークスルーしたのがオレンジフェリーのレストランです。出港後の22時半まで、レストランは賑わっていました。みんなフェリーは乗船してから船上で食事をするものと心得ているのです。

翌朝、東予港への到着は6時の予定です。5時半ころにオープンデッキに上がると、すでにカメラを構えた会員がたくさんいました。「おれんじ8」が使っている岸壁のさらに奥側に、新しい耐震岸壁ができており、そこに「おれんじえひめ」が着岸していました。この新しい岸壁までの港内航路が浚渫されて深くなつたため、「おれんじえひめ」は、喫水を深くして、効率の良い1軸プロペラ推進にできたとのことでした。

7時の下船前に、レストランの一画で、大阪で乗船前に調達したパンで腹ごしらえ。実は、事前の旅行の打ち合わせでは、最終航海なのですぐに引き渡し作業に入るため、朝食はだせないと聞いていたのですが、簡単な朝食もとれるようになっていました。

最後に、「おれんじ8」の3層吹き抜けのロビーの階段で記念撮影をして、別れを惜しみながら下船しました。

この後、「おれんじ8」は、この日の14時半に東予港を出港しました。去り行く同船を、国民休暇村で温泉につかりながら見た人、来島海峡大橋の上まで写真を撮りに出かけた人など、それぞれに別れを告げました。当初は、「おれんじえひめ」の姉妹船「おれんじおお

さか」が進水したばかりの IS 造船(大島)に回航されるのではないかとの情報も飛び交いましたが、AIS で同船の動きをチェックしていると、来島海峡大橋の下を通過した後、タグボートに誘導されながら、U ターンして、波止浜にある今治造船の本社工場の岸壁に着岸。売却のための最終準備に入りました。



「おれんじ 8」の船上での「フェアウェル・パーティ」。これまで何度も乗船した「おれんじ 8」のワンナイトクルーズ等の思い出話に花がさきました。



大阪を出港するころには、台風一過で月が煌々と輝いていました。



大阪南港の中もイルミネーションを灯した事務所などもできていました。



東予港の新岸壁には「おれんじえひめ」が停泊していました。左に見える岸壁が「おれんじ 8」の停泊する旧岸壁です。



下船前にロビーの階段で参加者の記念写真をとりました。



東予港に停泊する「おれんじ 8」を待合室の窓から撮影しました。14 時半に、東予港を出港してきました。



25 日の夕刻、波止浜の造船地域に「おれんじ 8」は回航されてきました。